

令和元年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第3学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論の展開にふさわしい語句や文を考える力</li> <li>・感じたことや考えたことを書き表す力</li> <li>・相手にわかりやすく伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞き取り」の力を高めるために各単元で時間を設定する。</li> <li>・自分の考えを適切な語句を使って表現させる。また、他者との交流を通して伝わりやすい表現を獲得させる。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。</li> <li>・1, 2年の学習内容の定着が不十分。または、それらを活用できない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年の学習内容に関連する1, 2年生の内容を、授業で積極的に扱い、丁寧に指導する。</li> <li>・授業には前向きに取り組む生徒が多いので、家庭学習の指示を明確にし、入試に向け学力向上を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで考えようとする姿勢の育成</li> <li>・思考・判断・表現力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの意思を表示する道具を使用して、授業に参加する態度を身につけさせる。</li> <li>・小集団による活動の場を増やす。</li> <li>・多様な資料等を活用することで、多角的に思考・判断する力を高める。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の技能を正しく身につける。</li> <li>・観察、実験の結果を科学的に考察し、文章で表現する力をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験器具を操作する時間を十分に確保し、生徒どうしで互いに教え合いながら身につけさせる。</li> <li>・考察する項目を明確にし、表現のしかたを例示して一人ひとりがきちんと考えて記入できるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱授業においては、1つの教室でのパート練習に限界があり、各パート練習の集中を妨げている。また、基本的歌唱能力を高めるための工夫、声量の拡大が求められる。</li> <li>・表現能力、鑑賞の能力、創作の技能などの力をバランスよく見につけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習では、準備室を開放するなどし、各パート練習が、静かで集中できる環境で行えるよう整備する。</li> <li>・毎時の発声練習などを習慣化し、基本的歌唱能力を高める。</li> <li>・特定の技能に苦手意識をもっている生徒へは、可能な限り個別での指導をし、全ての技能が冴えていることを意識させる。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって工夫をし、表現の質を高めようとする生徒と、平均的なものができれば満足してしまう生徒と共存しているが、授業秩序がしっかり出来上がっており、少ない授業時間の中でも達成感のある制作ができる。</li> <li>・学校の授業で美術の授業が最後になる生徒もいるので、今後の生活の中でどう関連付けていけるのかしっかり考えさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく今まで体験してこなかった材料に触れる時間を設定し、成就感をもって完成できるように個別の指導も充実させる。</li> <li>・また、総合的な学習の時間や行事と関連付ける制作も試み、生活の中に美術が浸透する機会をつくる。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識があると消極的になってしまう。</li> <li>・全体的に運動能力が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい課題から与えていき、達成感や自分から取り組めるように丁寧にポイントを指導する。</li> <li>・補強やトレーニングを授業内で取り入れ、体力向上に努める。</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指の巧緻性の低下</li> <li>・両手の共通する力の未獲得</li> <li>(例:技術…三角定規を二つ使えない。やっこなどによる効率の良いはさみ方を苦手としている。家庭…野菜を片手で抑え、片手で包丁を扱う。裁縫の技術等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の説明をさらに視覚的に理解しやすく工夫する。</li> <li>①教員による手本をより分かりやすい形で提示する。</li> <li>②ICT機器を活用し視覚的に提示する。</li> <li>③板書の工夫</li> <li>④ワークシートの工夫</li> </ul>
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた情報に基づいて、英文を書くこと</li> <li>・自分の考えを、正確でなくても発信しようとする意欲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面設定をして英文を書くことで、生徒の英作文の敷居を低くする。</li> <li>・身につけた知識をもとに、実際に使える表現を多用する機会を持ち、すぐに英語が出てくるようにする。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の整理、分析を、他者に伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする活動が苦手な生徒が多い。</li> <li>・他者と協働して主体的に課題を解決することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集する情報の種類をきちんと把握させる。また課題解決のための情報収集を自覚的に行わせること。収集した情報を適切な方法で蓄積させるようにする。</li> <li>・何のために学ぶのかどのように学ぶのかということを生徒自身が考え、主体的に学ぶ学習が基盤にあることを大切にさせる。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人間としての生き方を、深く考える」ことをテーマに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考えさせた。</li> <li>・主体的・対話的な取り組みは実践できたが、深い学びへとつなげていくには個人差があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より分かりやすく、体系的に授業を進めていきたい。そのためには、友だちの話を最後まで聞いたり、意見を否定しないなど、聞き取りの力も併せて身につけていく必要がある。</li> </ul>